

学年	教科	科目	教科書名	副教材名
高3 総進	理科	生物特講	高等学校生物 (第一学習社)	リードα (数研出版) スクエア最新図説生物 (第一学習社)

## 1. 授業のねらい

- ① 前年度学んだ知識・概念・思考方法を基に生物に対してさらに深い理解をする。
- ② 各自の進路に必要とされる生物学的知識や概念の基礎を確実に身につける。

## 2. 授業のすすめ方

- ① 授業に対して真面目に積極的に取り組むこと。疑問点は質問するなど、知識を習得するとともに内容理解を深めるよう努めること。
- ② 授業は電子黒板とプリントを利用して行われるため、口頭で説明したことはメモすること。
- ③ 演習問題等のプリントは各自ファイルを準備し、自宅学習にて活用できるよう、管理すること。

## 3. 学習上の留意点

- ① 受験を意識して1年間真剣に授業に取り組み、より主体的な学習を行うことに各自努めること。自宅学習として授業の予習・復習をする習慣を定着させる。
- ② ノートを見直し、わからない部分などはそのままにすることなく、質問するよう努めてもらいたい。
- ③ 日頃から用語・概念など重要事項について理解を深め、演習問題を解答する中で、内容理解・計算力・考え方を身につけてゆく。
- ④ 考査前は計画を立て、問題演習を十分に行うこと。また、試験で正答を得られなかった問題を復習し、弱点の克服に努めること。
- ⑤ 問題集(リードα生物基礎+生物)をきちんと学習し、基礎知識の定着を確認すると共に、大学受験に対応できる学力を身につけることにも努めてもらいたい。

## 4. 副教材・参考文献

- ① リードα生物基礎+生物の演習を行い、受験に対応するための実力養成を図る。
- ② スクエア 最新図説生物(第一学習社)を常に活用し、幅広い知識を身につける。教科書に載っていない専門的な知識の習得に利用する。実際に見ることができない生物や体内の微細構造を鮮明な写真で印象づける。

## 5. 評価の視点・テスト・課題等

定期考査による学習の到達度(100点×3回)と平常点で、学期ごとに評価を行う。平常点は毎時間提出する課題、小テスト、長期休暇中の課題、授業態度などを主として評価する。

## 6. 定期考査

- ① 定期考査は各回100点満点の問題で、年間で3回実施する。
- ② 定期考査は、試験範囲に関する問題を幅広く出題する。

## 授業計画

期	月	単元名・学習項目	評価方法	到達目標
一学期	4	知識の確認と定着 ①生物の特徴（基）	①問題集ノートや小テスト ②授業中の取り組み（解答解説・発言など）  その他課題などがあるときはその都度説明する  以上を主として1学期平常点20点満点に換算し、評価する。	・高1で学んだ生物基礎の学習内容の確認と定着に努める。 ・高2で学んだ生物の学習内容の確認と定着を図る。  ・各単元の確認テストや、主要大学の過去問演習を行うことにより、学力の確認および弱点の克服に繋げる。
		②遺伝子とそのはたらき（基）		
		③細胞と分子		
		④代謝		
	5	⑤遺伝情報の発現・発現調節		
		⑥遺伝子を扱う技術  【1学期中間考査】		
	6	⑦ヒトの体内環境の維持（基）		
⑧生物の多様性と生態系（基）				
⑨生物の進化				
7	⑩発生と遺伝子発現  【1学期期末考査】			
二学期	9	基礎学力到達度テスト対策 ・過去問演習 ・実験考察計算問題対策演習	①問題集ノートや小テスト ②授業中の取り組み（解答解説・発言など）  その他課題などがあるときはその都度説明する  以上を主として2学期平常点20点満点に換算し、評価する。	・高1で学んだ生物基礎の学習内容の確認と定着に努める。 ・高2で学んだ生物の学習内容の確認と定着を図る。  ・各単元の確認テストや、主要大学の過去問演習を行うことにより、学力の確認および弱点の克服に繋げる。
		⑪動物の反応と行動		
	10	⑫植物の環境応答		
	11	⑬生物群集と生態系  共通テスト対策 ・共通テスト対策演習  【2学期期末考査】		
12				
三学期	1	【 特別授業 】		
	2			
	3			